

留 学 報 告 書

記入日:2019年9月27日

所属学部／研究科・学科／専攻	政治経済学部経済学科
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア大学バークレー校 現地言語: University of California, Berkeley
留学期間	2019年5月～2019年8月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2019年8月28日
明治大学卒業予定年	2021年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期:秋学期/8月中旬～12月下旬 2 学期:春学期/1月中旬～5月中旬 3 学期:夏学期/5月中旬～8月中旬 (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	41,910(2017年・学部+大学院/Google 検索より)
創立年	1868年

留学費用項目	現地通貨 (US\$)	円	備考
授業料	6,527.42	739,348 円	授業履修3科目(10units)
宿舍費	4,698.00	534,407 円	120 食分チケット付(15食分余る)
食費		円	教養娯楽費内で集計
図書費		円	教養娯楽費内で集計
学用品費		円	教養娯楽費内で集計
教養娯楽費	1,842.12	203,288 円	週5回程度の外食、週末の交遊費、雑費等
被服費		円	教養娯楽費内で集計
医療費		円	
保険費	円払い	26,000 円	形態:明治大学指定(4ヶ月 Basic)
渡航旅費	円払い・人民元払い	87,698 円	フライト関連 79,200 円 他は中国宿泊関連費(2泊)
雑費	130.22	14,447 円	プリペイド携帯電話(1ヶ月分×3)
その他	円払い+200	40,935 円	VISA18,400 円、SEVIS\$200
その他	243.61	27,031 円	セッション間のLA旅行/2泊4日
その他	1,866.70	203,556 円	授業終了後の東海岸旅行/7泊9日
合計		1,876,710 円	ドル換算レート 113.75～108.45 円

渡航関連

渡航経路:羽田ー北京(トランジット)ーサンフランシスコ

渡航費用

チケットの種類 往復 Airchina エコノミー
往路 羽田ー北京(空港近隣ホテル泊)ーサンフランシスコ
復路 サンフランシスコー北京(空港近隣ホテル泊)ー羽田
合計 79,200 円(サーチャージ・空港関連費用等含む)、宿泊費は別です

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

經由便で観光することが希望でした。ネットの旅行体験記を参考にして、北京經由を決め、飛行会社のサイトで予約しました。往路は、羽田発の遅延でホテル宿泊のみでしたが、復路は、トランジット時間が約24時間ありましたので、北京市内を観光しました。トランジット便では、スーツケースを持ち出さずに、手荷物のみで空港から出国し、事前に予約したホテルに宿泊しました。

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

大学の学生寮(International House)

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数 1 人/前半は香港籍、後半は中国籍)

3)住居を探した方法:

過去の留学報告書、経験者からの直接の情報。大学のサイトに、複数の寮の情報があります。

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

International House は高価ですが、留学前に日本で取得できる情報も多く、現地では正規生や明大生以外の日本人留学生も滞在しています。授業に専念するにはよい環境と思います。サマーセッション期間は、多くの世界各地の大学生と生活を共にできます。寮主催の Coffe Hour(交流会)や野球観戦などのイベントがあり、国際交流する機会が多くあります。ただ、後半は、観光を目的に留学している学生が、増えた気がします、自分自身の目標を忘れて下さい。

滞在費に 120 食分のミールプランが付きます。ただ、外食することもあり、15 食ほど余りました。友達に正規生に譲り、お礼に T シャツ等のお土産を貰いました。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった
利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

友達(明治大学からの参加者)。VISA や履修上の問題があればメール等で連絡があります

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

旅レジの情報を参考にしました

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

■携帯電話

電話番号は、パークレーのシステムの二重認証の登録(電話番号以外でも利用可)、UBER・UBER EATS の登録等で利用しました。2日目に寮の最寄駅の AT&T ショップでプリペイド SIM カード(1ヵ月毎のチャージ)を購入しました。(日本で携帯電話の SIM ロック解除が必要です。)パソコン用にテザリングの利用可能タイプを推奨します。

■パソコン

故障も考えバックアップ用の SD カードを持参し、随時、データを保管しました。

■インターネット接続

寮・大学の WIFI 環境 はハイクオリティーです。ただ、寮の WIFI が不通になったことがあり、復旧に数日かかりました。その際、パソコンは携帯電話のテザリングで対応しました。

5)現地での資金調達はどうに行いましたか?

クレジットカード(VISA4枚)、デビットカード(VISA1枚、JCB1枚、銀聯1枚/中国用)を持参。JCB は使える場所が少ないです。VISA か Master を推奨します。

クレジットカード1枚を紛失(盗難?)したため、直ぐに、利用を止めました。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

特にありません

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

事前にクレジットカード支払いをしました。学生カードは、限度枠が小さいため、増枠が必要です。増枠ができなくても、保護者のカードで支払い可能です。私の場合は、授業料:学生カード、学生寮費:保護者、で支払いしました。

卒業後の進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
3年生の留学でした。3年生の夏休みは、日本では、サマーインターンが盛んな時期になります。そのためインターンに参加希望の際は、事前の準備・申込が必要だと思います。私は、授業後の8月後半はアメリカ体験を優先しました。帰国後の9月、1Day インターンに1社参加しました。
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
10 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Film and Media Cultures	
科目設置学部・研究科	Film
履修期間	Session A
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が3回
担当教授	Harry Burson
授業内容	映画の歴史とメディアの発展の考察
試験・課題など	毎授業予習のため20ページほどのReadin Assignmentsあり 中間テストはクイズとレポートを合わせたものを提出 期末テストは授業で習った単語や概念についての説明・考察(筆記試験)
感想を自由記入	Session Aということもあり、授業を履修していた半分近くの学生が正規生でした。授業では予習で課されたトピックの単語説明や時代背景についての説明があり、その後4～5人でのディスカッションという流れでした。内容としては各時代における映画の役割に重点を置き、その時代の影響や撮影技法などについて学びました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Television Studies			
科目設置学部・研究科	Media		
履修期間	Session D		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 150 分が 3 回		
担当教授	Josh Jackson		
授業内容	アメリカにおけるテレビ史		
試験・課題など	授業毎のクイズ、中間テスト(筆記)、期末レポート		
感想を自由記入	<p>テレビが現在までどのように発展したか、アメリカを中心にその歴史を学ぶ授業です。初めはテレビの定義から始まり、どう浸透したか、どのように社会に影響を与えたのか、現在のテレビの役割、立ち位置を学びました。履修者が 10 人前後であり、授業中でも先生が積極的に質問やディスカッションを投げかけてくれました。私自身、テレビ文化について興味がありこの授業を履修しましたが、アメリカと日本との間で、法整備や放送形式が違うところが多々あることが認識でき、とても参考になりました。</p>		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Macroeconomics Business for Analysis			
科目設置学部・研究科			
履修期間	Session D		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 150 分が 3 回		
担当教授	Steven A Wood		
授業内容	経済分析のためのマクロ経済学		
試験・課題など	評価は中間試験、期末試験のみ		
感想を自由記入	<p>履修者が 200 人ほどいるため、大教室で教授がプレゼンを使って授業を進める形です (SessionA の同授業は参加人数が少ない。)。基本的なマクロ経済学の知識を使い、現在の経済問題や社会問題を紐解いていきます。パワーポイントを使う授業で、先生の説明が丁寧でわかりやすいです。またディスカッションの回も授業で学んだことを実際に問題形式で解きます。その際、解らないことがあった場合は TA に質問することもできます。</p>		



留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2017年 1月～3月	明治大学進学決定後、大学 HP より留学情報を閲覧 TOEFL のことを知り、高校の TOEIC/TOEFL 講座に参加
4月～7月	4月明治大学入学 5月学部留学サポーター合宿参加(対ノースイースタン大学) 7月3段階留学(アジア/協定留学+リヨン政治学院+UCバークレー)の留学計画を考え、学部事務室に相談するも、事務上の問題が多く、お勧めしないと回答される。
8月～9月	8月大学の夏期 TOEFL 講座に参加 10月:3段階留学の詳細日程(申込・面接・オリエン・VISA・留学時期・試験時期)等を調べて、学部事務室に再相談すると、反対されなかった。
10月～12月	11月大学間協定留学/国立台湾大学申込
2018年 1月～3月	2月ベトナム国家大学/学部間短期留学参加(約1ヶ月)
4月～7月	6月学部留学サポーター合宿参加(対アジア諸大学)
8月～9月	8月夏季集中講座参加(国際大学@新潟)(約1週間) 9月国立台湾大学/大学間協定留学開始(約4ヶ月)
10月～12月	10月リヨン政治学院(フランス)留学申込 12月UCバークレー留学申込 (上記2つの申込は、事前に大学より許可を得て、留学中に作成した書類を自宅に郵送後、保護者経由で提出)
2019年 1月～3月	1月台湾より帰国 2月リヨン政治学院/学部間協定留学開始(約3ヶ月) 3月GW明けのVISA面接予約
4月～7月	5月リヨンより帰国、GW明けに米国大使館でVISA取得面談 5月学部留学サポーター合宿参加(対ノースイースタン大学) 5月UCバークレーサマーセッションズ開始(約3ヶ月)
8月～9月	8月中旬サマーセッション終了 米国東海岸(ボストン、ニューヨーク等)旅行、中国経由で帰国 9月所属ゼミ合宿参加
10月～12月	

留学体験記

<p>留学しようと決めた理由</p>	<p>高校時代の海外語学研修で国際交流の面白さを知り、大学では漠然と、海外体験を希望していました。また、私は、東京育ちの自宅暮らし、付属校出身、非運動部であり、自分自身のためにも、1年間程度、親元を離れた方がよいと、長期留学の希望もありました。大学入学後、2段階留学(リヨン政治学院+パークレー)の経験者の話を聞いて、興味があると両親に相談すると、日本はアジアの一員だ、アジアを経験したほうがよいとのアドバイスから、3段階留学(アジア+ヨーロッパ+アメリカ)を意識し始め、計画を練り始めました(入学後の6月頃)。 以下、主に、パークレー留学について記載しますが、3段階留学の視点でも、記載します。</p>
<p>留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備</p>	<p>■準備その1: 留学要件を意識した準備 ・英語の点数/TOEFL・TOEIC、学業成績/GPA(奨学金を受領するために、少しでも良くする必要があります。) ・2年秋学期からの長期留学を意識して、留学先が要求する科目履修、3年次に和泉返しにならない科目履修 ・明治大学サイト(留学関連)の情報をみて、各留学プログラムを研究しました。過去の募集要項や留学報告書は、計画を練る際に、大変参考になりました。また、先輩や同輩の体験談は、留学への強いモチベーションになります。</p> <p>■準備その2: 留学を有意義なものにするために/全般 ・留学先や近隣地域の地理・文化・歴史がどのように発展してきたか学習すれば、交流がより深まります。 ・多くの人々が日本に興味を持っています。日本のついでに質問に対して、しっかり回答できれば会話も弾みます。 ・アメリカ以外では、英語留学としても、現地語は生活の基本になります。事前学習に力を入れるべきです。 ・英語は世界共通語であり、レベルを上げるほど、授業以外にも活躍の場が広がります。 (以上は、完璧にできませんが、習慣化することが大切です)</p> <p>■準備その3: 授業について ・留学大学のサイト閲覧(事務手続・シラバス・試験日程等) ・履修授業の予習(内容の日本語での事前理解、英語の専門用語の理解) ・授業の進め方のリサーチ(経験者に聞くとよい) (パークレーの授業の難易度は非常に高いため、英語自体の準備よりも、履修予定の授業の対策をした方が、効果があります。)</p>
<p>この留学先を選んだ理由</p>	<p>世界をリードするアメリカに行くことは、昔からの憧れでした。留学先を調査していくうちに、カリフォルニア大学パークレー校という世界的に見ても、非常に優秀な大学で学ぶというチャレンジをしたいと思いました。特に、専攻の経済学以外にも、映画・テレビなど、自分が興味をもっている分野の授業も多くあり、この留学を決めました。(ロサンジェルス校も選択肢にありましたが、日程、環境からパークレー校を選択しました。)</p>
<p>大学・学生の雰囲気</p>	<p>Session A の自分が受けていたクラスではおおよそ半分と少しが正規生、残りが留学生という割合でした。授業では正規生を中心に発言、グループワークが進みその流れで留学生も発言などをしていました。Session D ではほとんどの学生が留学生ということもあり、Session A と比べると先生主導でグループワークなどが進行されることが多かったです。</p>
<p>寮の雰囲気</p>	<p>International House では Session A に正規生が滞在していますが、Session D からは正規生が帰郷中のため、その空き部屋に多くの留学生が入寮します。毎週水曜夜には Coffe Hour(交流会)があります。滞在中の後半には、その時間を使ってレバノンや韓国の学生たちが、それぞれの国の文化・食べ物を紹介する交流会を開催しました。私も参加し、世界各国の学生と異文化交流を行いました。</p>
<p>交友関係</p>	<p>明治大学は、毎年サマーセッションズに、多くの人が参加しています。また、International House では、多様な留学生が滞在しており、様々な交流会が開催されています。その学生と交流する機会を通じて、交友関係を築くことができます。また、正規生との交流も授業を通してあり、留学生との交流とは一味違う経験ができました。</p>

<p>困ったこと、大変だったこと</p>	<p>■準備編 留学は授業以外にも、渡航前の事務書類の準備、ビザ申請、渡航準備が大変です。自分の場合、その大変な準備を、(次の留学のために、)海外で行うことは、想像以上に苦労しました。書類提出前は、留学先から、保護者及び大学関係者と頻りに連絡をとっていました。</p> <p>■授業編(パークレー) (アメリカの)授業でのディスカッションへの対応に苦労しました。アジアやヨーロッパの授業の英語ディスカッション以上に、ハードな授業で、当初、対応することに苦労しました。 履修した授業の1つのクラスが全体で10人ほどの少人数クラスであり、毎回の授業の20～30分を使いディスカッションを行いました。その中では、自国の特徴や他国との違いを述べる必要がありました。日本人の履修者は自分のみでした。これまでの留学でもディスカッションを経験してきましたが、今回は初めて学ぶ内容であり、自分の意図を完全に理解してもらうことに苦労しました。その際に、自分が何を伝えたいかだけでなく、他の学生に日本のイメージや特徴を事前に聞いてみることで、説明内容を工夫して、より客観的に外国人の視点に合わせた内容で話すことができました。</p>
<p>学習内容・勉強について</p>	<p>■サマーセッションのパンフレット掲載以外の授業の開講もあります。初めは授業のサイトの閲覧方法になれることに手間取ります。留学前に、経験者に教えてもらうことでスムーズに検索できるようになります。現地で、授業が合わない場合は、変更することも可能です。私も1つ変更しました。事前に多めに登録することや、予備の授業を考えておくとういと思っています。(事務要領に従いキャンセルすれば、授業料は返金されます。)</p> <p>■パークレーの授業は大変です。授業の進度が通常の学期の2倍であるため、英語にハンディがある日本人には、非常に難易度が上がります。そのため Session 中は、授業に専念する必要があります。</p> <p>■履修授業のうち2つは、大学の専攻以外の授業を履修しました。アメリカの映画・テレビを中心にマスメディアを学びました。慣れない分野は、毎授業で課せられる10-15ページの予習に苦労しました。授業前半は内容を理解するのに時間がかかりましたが、後半になるとスキミングなどの方法を使い効率よく内容を理解することができました。</p>
<p>課題・試験について</p>	<p>■マスメディアの授業は、レポート提出の課題が多くありました。履修経験のない分野の授業であり、レポートのフォーマットや構成などで苦労しました。しかし、そういう状況では、回りに相談することが一番よい解決手段です。現地生に閲覧してもらい、かつ、先生に構成のアドバイスをもらうことで、なんとか自分の納得する形で提出することができました。</p>
<p>大学外の活動について</p>	<p>■基本的に授業で忙しく、大学外の活動に参加することは難しいと思います。ただ、セッション間や授業終了後の旅行は、ハードな授業の反動もあり、よい思い出となりました。</p> <p>■L.A.旅行／2泊4日(SessionAとSessionDの間) バスでの弾丸旅行。総額243.61ドル(27,031円)</p> <p>■東海岸旅行／7泊9日(サマーセッションズ終了後) 明治大学の留学サポーターで出会ったノースイースタン大学の友達に会いにボストンへ、その後、明治の友達と合流し、ニューヨークへの旅行に行きました。宿泊や移動の安全を確保する必要があり、それなりの費用となりました 参考 飛行機代 315.30ドル(34,601円) ホテル代 783.15ドル(85,271円) 食事・交遊費・土産代等 768.25ドル(83,684円)</p>
<p>留学を志す人へ</p>	<p>明治大学には、目標があれば、手を差し伸べてくれる環境があります。みなさん、果敢にチャレンジしてください。</p> <p>これまでの留学活動において、多大な費用援助と様々な人々のサポートを受けました。この場を借りて、お礼を申し上げます。 費用については、明治大学の奨学金、民間の奨学金等を受領しました。加えて、今後申請予定の奨学金が受領できれば、大部分の留学費用の負担が軽減されます。本当に感謝しています。</p> <p>それ以上に、多くの方々の無償のサポートも受けてきました。大学の先生方々、大学の事務の方々、先輩、同輩、後輩、そして、両親のサポートがなくては、到底、留学することはできませんでした。私が受けたように、今後留学を目指す方々に、協力していきます。遠慮なくコンタクトしてきて下さい。</p>

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	自習	授業	授業	授業	ディスカッション	自由時間	外出等
	自習	授業	授業	授業	ディスカッション	自由時間	外出等
午後	自習	授業	授業	授業	自習	自由時間	外出等
	自習	授業	授業	授業	自習	自由時間	外出等
夕刻	自習	自習	自習	自習	自習	交流	自習
夜	自習	自習	自習/交流	自習	自習	交流	自習

